

# 個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	真庭高等学校落合校地			所在地	真庭市落合垂水448-1		
敷地面積	30,286.36 m <sup>2</sup>			棟数	41 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	10,557.05 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
<b>【想定される自然災害】</b>							
予想震度 5弱		津波 -			浸水 2.0m以上5.0m未満		
建築規制	非線引都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	180,329 kwh	261 m <sup>3</sup>	1,395 m <sup>3</sup>	4,597 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 真庭市指定緊急避難場所(地震)						

## 1 施設内建物の概況

名 称	管理棟(42-1棟)12-1,2	管理棟(48棟)12-2	管理棟(49棟)12-3
築年(西暦)	1965 年	1969 年	1970 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	255.52 m <sup>2</sup>	223.73 m <sup>2</sup>	268.17 m <sup>2</sup>
延床面積	766.04 m <sup>2</sup>	671.19 m <sup>2</sup>	804.51 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	化学教室 生物教室 音楽教室	被服教室 物理教室 美術教室	食物教室 書道教室 図書室
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	適	適	適
	適	適	適
長期使用の 適否	適	適	適
	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理棟(62棟)12-4	看護科棟(50棟)14-1	看護科棟(50-2棟)14-2
築年(西暦)	1974年	1970年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	396.97 m <sup>2</sup>	255.11 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>
延床面積	1057.67 m <sup>2</sup>	510.22 m <sup>2</sup>	230.19 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 会議室	在宅看護実習室兼講義室 基礎看護実習室 看護管理室	看護学実習室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備		
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	教室棟(51棟)15	寄宿舎(55棟)23	体育館(58棟)24
築年(西暦)	1971年	1972年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階
建築面積	339.45 m <sup>2</sup>	291.68 m <sup>2</sup>	1212.52 m <sup>2</sup>
延床面積	1044.63 m <sup>2</sup>	667.85 m <sup>2</sup>	1518.92 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	寄宿舎	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消防設備(自動火災報知設備)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果 $I_s \geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	記念館(64棟)26	武道場(65棟)27	特別教室棟(74棟)30
築年(西暦)	1975年	1976年	1990年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	194.94 m <sup>2</sup>	378.45 m <sup>2</sup>	280.64 m <sup>2</sup>
延床面積	395.12 m <sup>2</sup>	413.69 m <sup>2</sup>	850.10 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	講義室 倉庫 和室	武道場	社会科教室 電子計算教室 視聴覚教室
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備)	
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	部室棟(81-1棟)33-1	北教室棟(87棟)35
築年(西暦)	2000年	2005年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	152.76 m <sup>2</sup>	211.46 m <sup>2</sup>
延床面積	305.53 m <sup>2</sup>	422.92 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	部室 更衣室 体育教官室	選択教室 普通教室
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	中	中
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

0910

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
管理棟(42-1棟)12-1,2	予防保全を図る。
管理棟(48棟)12-2	予防保全を図る。
管理棟(49棟)12-3	予防保全を図る。
管理棟(62棟)12-4	設備等の定期更新を行う。
看護科棟(50棟)14-1	予防保全を図る。
看護科棟(50-2棟)14-2	予防保全を図る。
教室棟(51棟)15	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
寄宿舍(55棟)23	予防保全を図る。
体育館(58棟)24	予防保全を図る。
記念館(64棟)26	設備等の定期更新を行う。
武道場(65棟)27	予防保全を図る。
特別教室棟(74棟)30	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
部室棟(81-1棟)33-1	予防保全を図る。
北教室棟(87棟)35	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
管理棟(42-1棟)12-1,2	予防保全				予防保全を図る。						
管理棟(48棟)12-2	予防保全				予防保全を図る。						
管理棟(49棟)12-3	予防保全				予防保全を図る。						
管理棟(62棟)12-4	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				受変電設備						
看護科棟(50棟)14-1	予防保全				予防保全を図る。						
看護科棟(50-2棟)14-2	予防保全				予防保全を図る。						
教室棟(51棟)15	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				トイレ洋式化		トイレ改修				
寄宿舍(55棟)23	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(58棟)24	予防保全				予防保全を図る。						
記念館(64棟)26	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				校地集約化に伴う内部改修						
武道場(65棟)27	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(74棟)30	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				トイレ洋式化						

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
部室棟(81-1棟)33-1	予防保全				予防保全を図る。						
北教室棟(87棟)35	予防保全				予防保全を図る。						

#### 4. 概算費用

--



## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.3	記念館(64棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.7	管理棟(62棟)において、設備等の定期更新を追加
R3.11	教室棟(51棟)及び特別教室棟(74棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	教室棟(51棟)において、設備等の定期更新を追加